

五島市まち・ひと・しごと創生

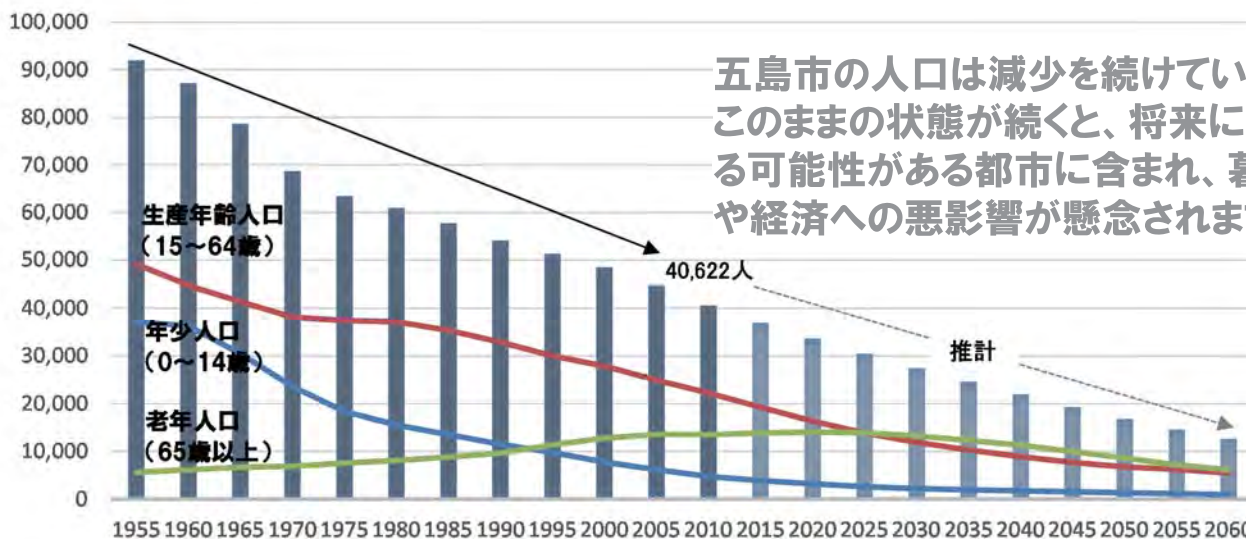
# 人口ビジョン ・総合戦略

2015-2019

概要版



# 五島市の人口は？



五島市の人口は減少を続けています。このままの状態が続くと、将来に消滅する可能性がある都市に含まれ、暮らしや経済への悪影響が懸念されます。

(出展：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所)

## 基本目標1

### 五島の恵みを活かし、雇用を生み出す“しま”をつくる

(主な目標) 正社員の求人割合

34.9%  
(H26年度)



50.0%  
(H31年度)

- 地域を支える基幹産業を育成し、担い手を目指す若者が安心して参入できる“しま”づくり
- 基幹産業である農林水産業従事者の高齢化による担い手不足を解消し、域外から外貨を稼ぎ、地域経済をけん引する産業としての地位を築きます。また、安心して若い担い手が新たに参入できるよう支援します。
- 稼ぐ力の向上を支援し、意欲的な事業者がチャレンジできる“しま”づくり
- 水産加工施設の開設や、農産加工施設の開設が続いています。地場産業の品質向上、技術革新、流通効率化、ブランド構築、6次産業化を積極的に支援し、次世代産業の育成に努めます。
- 将来の五島市を支える新たな産業を生み出し、産業が集積する“しま”づくり
- 五島市の強みを活かした海洋再生可能エネルギー事業を推進するとともに、地場産業との連携、関連企業・研究機関などの誘致、新たな企業創出など、地域経済の活性化に取り組み、良質な雇用を創出します。
- 専門性の高い人材が活躍し、将来を担う人材が育つ“しま”づくり
- 基幹産業や新産業をはじめ、様々な分野において、研修制度の充実、長期的なフォローアップなどを通して、五島市の将来を担う人材を育てます

## 基本目標2

### 五島の魅力を発信し、世界に誇れる“しま”をつくる

(主な目標) 観光客入り込み客数

203,765人  
(H26年)



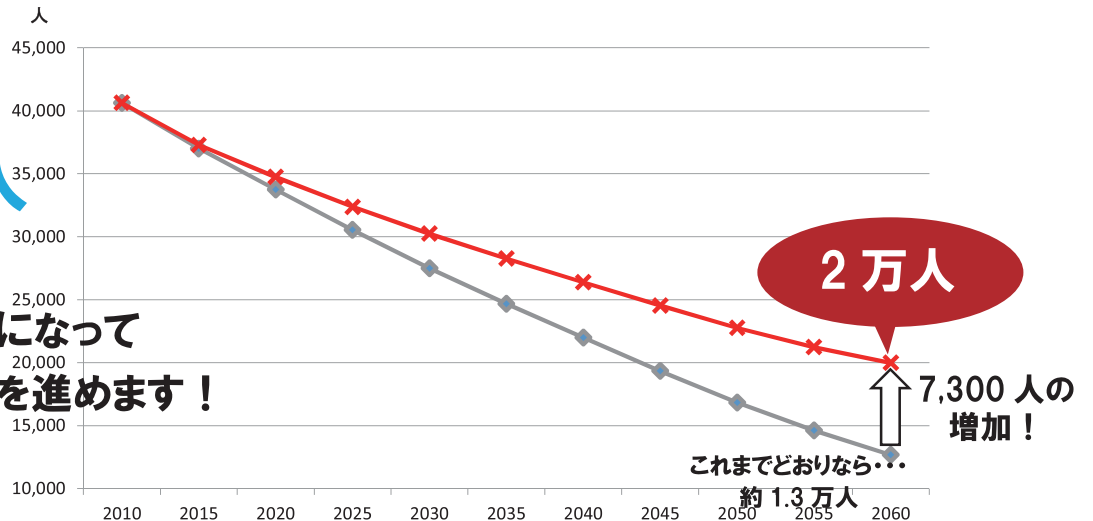
260,000人  
(H31年)

- おもてなしの心で、再び訪れたいくなる“しま”づくり
- 教会群の世界遺産登録と日本遺産の推進、ジオパークへの取り組み、山本二三美術館(仮称)の開設など、地域資源を活用した魅力づくりに取り組むとともに、すべての市民のおもてなしの心の醸成と、来島者のニーズに応えられる環境整備を進め、国内外の観光客の増大とリピーターの増加を図ります。
- UIターン者をサポートし、住み続けたいくなる“しま”づくり
- 高校生は卒業時に、進学又は就職のため島外に流出しています。一方で20代後半に転入者が転出者を上回る動きも見られます。就業や住まいなど、UIターン者の定住に関する不安解消にむけ、環境整備の取り組みを強化します。
- スポーツを通じて交流する“しま”づくり
- 五島市が自然環境や社会環境からスポーツ合宿に適した地であることを発信し、誘致を進め、子どもたちには選手との交流により一流の技術を学ぶ場を提供します。また、企業などの保養地としての可能性など新たな交流も展開します。
- 五島の魅力を発信し、世界に誇れる“しま”づくり
- 五島市の情報を戦略的に発信するため、ターゲットと発信する情報を整理し、効果的なプロモーションを推進することで地域ブランドの確立を図ります。

# 〔将来人口の見通し〕

2060年  
人口2万人

市民の皆様と一緒に  
豊かな“しま”づくりを進めます！



## 基本目標 3

安全・安心で住みやすさ  
日本一の“しま”をつくる

(主な目標) 特定健康診査受診率

39.2% (H26年度) → 60.0% (H31年度)

- 地域コミュニティ維持と活性化による絆の“しま”づくり
- 各地区のまちづくり協議会などが円滑に活動できるよう、地域コミュニティ活動や地域活性化プロジェクトなどを支援します。
- 日本一健康な“しま”、日本一住みやすい“しま”づくり
- 地域包括ケアシステムの構築、地域ミニディの拡充などに取り組み、医療・介護、地域の連携によって、できる限り住みなれた地域で自分らしく健康で生活することができる環境を整備し、日本一健康な“しま”、日本一住みやすい“しま”を目指します。
- 高齢者が生きがいを持ち、元気に活躍できる“しま”づくり
- 高齢者に、人材が不足している分野や子育て見守り支援などに積極的に参加していただき、地域社会の中に生きがいと活躍の場を見いだせる環境を整備します。
- 地域のコンパクト化を進め、いつまでも住み続けたいと思う“しま”づくり
- 地域のコンパクト化に取り組み、地域インフラの整備や維持管理により、移動による生活消費の削減を図り、また、遊休資産の有効活用により、地域の拡散に歯止めをかけ行政コストの削減を推進します。

## 基本目標 4

五島の宝・子どもが育ち、  
輝く“しま”をつくる

(主な目標) 合計特殊出生率

1.76 (H25年) → 1.87 (H31年)

- 結婚・出産・子育てを支援し、希望をかなえる“しま”づくり
- 子育てする家庭が仕事との両立を図り、次世代の宝である子どもたちが健やかに成長できるよう、子育てにかかる経済的負担の軽減など、結婚、妊娠・出産、子育てを切れ目なく支援し、若い世代が希望を持てる地域の実現を目指します。
- 地域で子育てし、郷土愛に満ちた“しま”づくり
- 子育てに係るニーズは多様化する傾向にあり、よりきめ細やかな対応が求められています。このような中、郷土の自然や文化、伝統などに接したり、地域の課題を捉え、その解決に向け活動することで、郷土を育て発展させるような郷土を愛する心を持つ「五島の宝・子ども」を、みんなの力を結集し育てます。
- 地域と環境を活用し、教育の“しま”づくり
- 小学生からの英語習得事業「プロジェクトG」を進めるほか、語学に長けた大学生などが来島し地域や児童・生徒との交流、ICT教育の強化、さらには県立高等学校の魅力化を図り、グローバル人材の育成に取り組みます。
- 「しま留学」を推進し、しまの豊かな自然の中で都会では経験のできない活動を通して、心身ともに健康な子どもの育成を図るとともに、島内外の子どもの交流による人材育成を進めます。

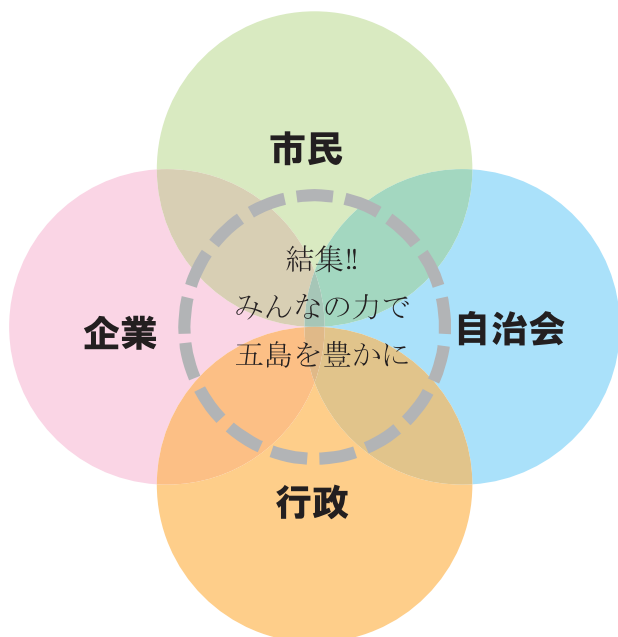
# 14の戦略プロジェクト

基本目標を達成するために14の戦略プロジェクトと56項目に及ぶ重点事業を実施します。重点事業とは各プロジェクトの中でも特に重点的な取り組みを行う事業を設定しています。



## 戦略プロジェクトの主役は市民一人ひとり

行政だけでなくあらゆる主体に積極的に参画していただき、その目標の実現に向け、「結集!! みんなの力で五島を豊かに」を合言葉に取り組んでまいりましょう。



## 1. 農林業振興プロジェクト

- ①担い手の育成と農地の集積
- ②生産基盤整備の充実
- ③農業生産の環境整備と資源活用
- ④農畜産物の生産振興
- ⑤6次産業化による経営力向上
- ⑥販路拡大・ブランド化



指標名	基準値	目標値
新規就農者数	7人 (26年度)	10人 (31年度)
耕作放棄地面積	748 a (26年度)	448 a (31年度)
繁殖雌牛飼養頭数	3,941 頭 (27年4月)	4,850 頭 (32年4月)
椿油生産量	13.4 kl (26年度)	30.1 kl (31年度)

## 2. 水産業振興プロジェクト

- ①後継者・担い手育成
- ②漁業生産力・経営体制の強化
- ③養殖・栽培漁業の推進
- ④6次産業化の推進
- ⑤販路拡大・ブランド化



指標名	基準値	目標値
1経営体当たり平均漁獲金額	4,203千円 (25年度)	4,623千円 (30年度)
マグロ出荷量	900 t (26年)	1,350 t (31年)
新たな加工・販売施設の整備件数	2件 (26年度末累計)	7件 (31年度末累計)

### 3. 物産・ブランド振興プロジェクト

- ①大都市圏販路開拓
- ②ブランド推進体制づくり
- ③6次産業化・新商品開発支援



指標名	基準値	目標値
大都市圏(東京、福岡)での市産品取引店舗数(市物産振興協会調べ)	12件 (26年度)	86件 (31年度)
市物産振興協会の売上額	103,987千円 (26年度)	179,000千円 (31年度)
新たな加工品の開発件数	—	20件 (31年度末累計)

### 5. 再生可能エネルギー産業創出プロジェクト

- ①海洋再生可能エネルギーの先進地
- ②地域をリードする研究開発・人材育成・産業集積形成



指標名	基準値	目標値
実証事業にかかる企業数	2社 (27年度末累計)	5社 (31年度末累計)
浮体式洋上風力発電設備容量	0 kw (27年度)	22,000 kw (31年度)
クリーンエネルギー車の普及台数	121台 (26年度末累計)	170台 (31年度末累計)

### 4. 商工業振興・新産業育成プロジェクト

- ①トップランナー育成
- ②企業誘致対策の充実
- ③多様な人材が就労できる環境づくり
- ④安定雇用の推進と雇用創出



指標名	基準値	目標値
誘致企業数	3件 (26年度末累計)	5件 (31年度末累計)
女性の就業率	51.5% (27年4月)	66.0% (32年4月)
高校生新卒者地元就職者率	41.8% (26年度)	50.0% (31年度)

### 6. 観光による交流拡大プロジェクト

- ①国内誘客の強化
- ②国外誘客の強化
- ③世界遺産ツーリズム
- ④民泊・教育旅行の強化
- ⑤世界ジオパークの推進
- ⑥観光インフラ整備
- ⑦ホテル・旅館などの再生



指標名	基準値	目標値
観光ガイド登録者数	53人 (26年度)	100人 (31年度)
外国人観光客数	618人 (26年)	1,700人 (31年)
世界遺産関連ツアーへの参加者数	266人 (26年度)	2,500人 (31年度)
民泊許可軒数	81軒 (26年度)	150軒 (31年度)

## 7. UIターン促進プロジェクト

- ①窓口の機能強化と情報発信
- ②受入住宅などの整備
- ③就業支援の体制づくり



指標名	基準値	目標値
40歳未満のUIターン者の移住者数	9人 (26年度)	20人 (31年度)
空き家バンクへの登録数	—	150軒 (31年度末累計)
お試しツアーなどの利用者のうち移住者数	—	5人 (31年度)

## 9. 広報戦略プロジェクト

- ①広報戦略専門組織の構築と立案



指標名	基準値	目標値
都市部での五島市の認知度	—	初回調査＋10.0% (31年度)
ホームページアクセス数	1,340千件 (26年度)	2,000千件 (31年度)

## 8. スポーツを通じた交流拡大プロジェクト

- ①誘致活動強化
- ②スポーツ施設整備
- ③地域経済活性化対策



指標名	基準値	目標値
スポーツ合宿の団体数	71団体 (26年度)	100団体 (31年度)
スポーツ集客イベントへの参加者数	4,575人 (26年度)	6,000人 (31年度)
スポーツ集客イベントの開催数	3大会 (26年度)	4大会 (31年度)

## 10. 地域コミュニティ維持・活性化プロジェクト

- ①コミュニティ維持・再生
- ②外部人材との連携強化



指標名	基準値	目標値
絆交付金による地域の特性を活かしたまちづくり活動件数	—	39件 (31年度)
支所地区の強みを活かした活性化プロジェクト件数	13件 (27年度)	15件 (31年度)
地域課題解消に向けた大学との連携事業数	6事業 (26年度)	10事業 (31年度)

## 11. 健康長寿のしまづくりプロジェクト

- ①医療施設とのネットワーク構築による医療・福祉の充実
- ②良質な医療体制の構築
- ③地域包括ケアシステムによる介護の充実
- ④日本一健康なしまづくり・高齢者の生きがいづくり



指標名	基準値	目標値
調剤情報システム 市民加入者数	10,432 人 (26年度)	15,000 人 (31年度)
医師数の人口1万人 対率	17.72 人 (24年)	19.71 人 (31年)
地域ミニデイの設置 件数	20 件 (26年度)	50 件 (31年度)

## 13. 結婚・出産・子育て支援プロジェクト

- ①出会い・結婚支援
- ②出産・子育て支援



指標名	基準値	目標値
婚活イベントによる成 婚数	—	5 組 (31年度末累計)
婚活支援団体数	—	5 団体 (31年度)
子育て支援員数	—	30 人 (31年度末累計)
放課後児童クラブな どの設置数	9 箇所 (26年度)	11 箇所 (31年度)

## 12. インフラ整備プロジェクト

- ①陸上交通の再編・再生
- ②空路活性化
- ③航路活性化
- ④地域インフラ整備
- ⑤国機関などの誘致
- ⑥公共用地の有効活用、公共施設の再編・有効活用
- ⑦安全な生活の確保



指標名	基準値	目標値
交通空白地区におけ る新交通システム 導入数	—	4 件 (31年度末累計)
橋りょうの補修実施件 数(橋りょう修繕計画)	15 件 (27年4月)	61 件 (32年4月)
消防出張所改修・改 築件数	—	5 件 (31年度末累計)
デジタル式防災行政 無線整備率	81.4 % (26年度)	100.0 % (31年度)

## 14. 教育のしまづくりプロジェクト

- ①グローバル人材育成
- ②豊かなこころ・ふるさとを誇りに思う子どもの育成
- ③ICT教育の強化
- ④高等学校の機能充実と魅力化の推進
- ⑤読書に親しむ環境づくり
- ⑥学校教育の環境整備
- ⑦しま留学制度の推進



指標名	基準値	目標値
全国学力調査の正答 率に対する比率	97.5 % (26年度)	102 % (31年度)
ICT活用頻度 (回/週)	2.1 回/週 (26年度)	7.0 回/週 (30年度)
図書貸し出し冊数 (図書館・公民館)	154,074冊 (26年度)	163,000冊 (31年度)
しま留学者数	—	10 人 (32年4月)

五島市まち・ひと・しごと創生

# 人口ビジョン・総合戦略

概要版

五島市

平成27年12月